

2015年10月7日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティア、米国中西部で 14MWのCIS薄膜太陽電池モジュールを供給

米国において更なる事業拡大を実現

【東京—2015年10月7日】 - ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、米国インディアナ州インディアナポリス市近郊において建設中の2件の太陽光発電プロジェクトに向けて、CIS薄膜太陽電池モジュールを提供することが決定しましたのでお知らせします。これらの太陽光発電プロジェクトは、いずれも規模が7MWで、2015年末までに完了する予定です。

本プロジェクトは、カリフォルニア州を拠点とする企業が所有するもので、建設はVaughn Industries社が請け負います。Vaughn Industries社は、送配電、変電所プロジェクト、再生可能エネルギープロジェクトなどを含む電気工事に関する包括的なサービスを提供しています。

ソーラーフロンティア・アメリカズのCOOであるチャールズ・ピメンテルは、次のように述べています。「Vaughn Industries社は、お客様に最高品質を提供できるよう尽力しています。ソーラーフロンティアは、そのようなプロジェクトに採用され、当社の高い品質をお示しできることを嬉しく思います。」

Vaughn Industries社のCEOであるティム・ヴォーン氏は、次のように述べています。「今回のプロジェクトは、ソーラーフロンティアのCIS薄膜太陽電池モジュールを採用することによって、従来のプロジェクトよりも高い発電量と経済性（競争力のあるLCOE¹）を実現できると見込んでいます。」

ソーラーフロンティアは、世界を牽引する卓越した生産技術によって、全自動かつ最先端の国富工場において最高水準の製品品質を実現しています。また当社のCIS薄膜太陽電池は、実際の設置環境下において従来の結晶シリコン系を上回る実発電量を発揮しており、米国の投資家やプロジェクトディベロッパーから着目されています。ソーラーフロンティアは今後とも、世界中のお客様へ、太陽による快適でクリーンな暮らしをお届けしてまいります。

以上

¹ LCOE（均等化発電原価）：プロジェクト期間中のプロジェクトコストをすべてカバーするのに必要な販売価格

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社（5002, T）の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場（公称生産能力900メガワット）は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVM 認証（JIS Q 8901）」などの第3者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞（製品・技術開発部門）、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

【Vaughn Industries, LLC について】

Vaughn Industries, LLC は、米国有数の電気工事請負業者の一つであり、電気、再生可能エネルギー、機械、配管、高電圧変電所、高圧送電および配電工事などの産業および商業分野においてサービスを提供しています。600人以上の従業員を擁し、同社はすべての業務に最善の努力を尽くし、安全性、品質、顧客満足度を大切とした創業者の意思を継承しています。詳細については、<http://vaughnindustries.com>をご覧ください。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792